



プレスリリース

2008年11月

ムーブル・パリ、メゾン・エ・オブジェ 2009年1月展：ホームファッションのヴィジョンを広げる二つの見本市のシナジー

2回目を迎える、ムーブル・パリとメゾン・エ・オブジェの同時開催

家具と室内装飾の世界に、より包括的で完全なヴィジョンを提示する展示内容のシナジー効果。同時期の開催と共通の入場バッジ、そして両見本市の会場を結ぶ無料のシャトルバスによる、オーガナイズのシナジー効果。



ムーブル・パリ

2009年1月22日(木)～26日(月)
パリ・ルブルジェ見本市会場



メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、now!(ナウ)生活空間を彩るデザイン、
メゾン・エ・オブジェ・エディトール、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ
2009年1月23日(金)～27日(火)
パリノール見本市会場



数字でみるムーブル・パリとメゾン・エ・オブジェ:

- 出展者数 3,460 社
- 展示面積 165,000 m²
- 来場者数 100,000 名
- 報道関係者数 3,600 名
- 業界関係者限定の6日間
- 1つの入場バッジで2つの見本市会場に
- 両見本市間を無料のシャトルバスが運行

ムーブル・パリ

家具のトレンドのすべて

2009年1月22日(木)～26日(月)
パリ・ルブルジェ見本市会場
halls 1, 2, 3, 4 & 5



第2回を迎えるムーブル・パリが、2009年1月22日(木)よりパリ・ルブルジェ見本市会場にて開幕します。26日(月)までの5日間、変化し続ける今日の家具のすべてが、80,000m²の会場にてクリエイティブなポテンシャルとハイクオリティーな多様性を発表します。

躍動する家具

機能性についての熟考、フォルムについての熟考を通して、家具は実用的な価値をもったオブジェとなり得ます。ユーザーの日常に寄り添い、その空間を構築する存在です。

家具市場を俯瞰

ムーブル・パリは展示内容を2つのカテゴリーに集約し、来場者の期待に応えます:リビング(LIVING)はコンテンポラリー、アトモスフェール(ATMOSPHERE)は伝統と様式をテーマとしています。これをさらにいくつかのセクターに再区分して、ムーブル・パリは家具市場のより完全な全体像を提示します。

ジャン=フィリップ・ヌーエル(Jean Philippe Nuel)によるセノグラフィ

ジャン=フィリップ・ヌーエルは、これまでに手掛けた国際的なホテルで用いられた類まれな手法をムーブル・パリにもたらします。アーキテクト・デコレーターの彼は、さまざまな影響をクロスさせ、未来の室内装飾のためにたどるべき軌跡を空間に組み込みます。最新のテクノロジーを独自に用いることにより、装飾における主要なアイテムとして家具の価値を最大限に高めます。

ムーブル・パリ 2009 のクリエイター: フランソワ・アザンブール(François Azambourg)

フランソワ・アザンブールは、控えめな人物ですが現代デザイン界で欠かすことのできないクリエイターです。彼の作品は詩的かつ革新的、新しくオリジナルなフォルムを構築するのに適した素材を探求します。数年前から世界のエディターたちの高い評価を受け、私たちの日常にエレガンスと洗練とをもたらしています。彼のコレクションは次のようなブランドのラインで確認することができます: Ligne Roset et Cappellini, Poltrona Frau, Domeau & Pérès ...

トランプラン(Tremplins/ジャンプ台): 4人の若き家具デザイナーの発見

トランプランは、家具の分野における新たなクリエイターに光を当てるプロジェクトです。カテゴリ化できない現代のクリエイションに焦点を当て、一見の価値がある才能をより世界に知らしめるという趣旨の展示です。

カンファレンス

5日間の会期中、ムーブル・パリのカンファレンスが家具マーケットを解説します。毎日ひとつのテーマに沿ってひとつの雑誌と提携し、ルブルジェ見本市会場のカンファレンスルームで開催されます。今回展は、ジャン=フィリップ・ヌーエルのオープンな気分を強調したいとの意向により、レストランのスペースに向かって開かれた会場となります。

UNIFA(フランス家具工業会)とVIA(フランス創作家具振興会): ムーブル・パリのパートナー

家具の業界団体としてのクオリティーを誇る UNIFA は、ムーブル・パリの公式パートナーとして家具業界の発展のために協力を惜みません。「UNIFA は、パリ・ルブルジェ見本市会場に家具のプロフェッショナルをダイナミックに集結させます。SESMP(メゾン・エ・オブジェを主催する SAFI の 100%子会社)が運営し第 2 回を迎える 2009 年展は、ホームファッション業界とのインターナショナルでクリエイティブなシナジー効果によって、フランスの家具産業の期待に大いに応えるものとなるでしょう。」

VIA は、才能と産業界が交流するプラットフォームとして機能し、現在そして未来のフランスのデザイナーが設計したプロトタイプを「カメレオン・マテリアル」(Matériaux Caméléons)という技術革新的なエクスポジションにて披露します。才能の発掘、トレンドの発表は、www.via.fr にて。

数字でみるムーブル・パリ

- 出展者のうち 30%は、フランス国外からの新規出展者
- 展示面積 42,000 m²
- 出展者数 450 社(うち 64% はフランス国内から、36%はフランス国外から)

メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、now!(ナウ)生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・エディトワール、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ

ホームファッションのフェミニン

2009年1月23日(金)~27日(火)
パリノール見本市会場

まず初めに 2009年1月展の見どころ

ホームファッションとしての料理

今後の展望を見据えて、メゾン・エ・オブジェは、居住者にとって住環境と習慣の発展を決定づける文化的な流れを余すところなく吸収することを可能にします。インスピレーションは創造性を必要とするあらゆるものから育まれるのは確かですが、メゾン・エ・オブジェは今年、異なる才能の共存というカードを提示します。クリエイションの世界の進化を映す鏡、メゾン・エ・オブジェは、出会いと発見をうながす懸け橋として発展し続けます。2009年1月展では、ガストロノミー(美食)とホームファッションの表現という、例外的な対話へと皆様をご招待します。

シェフたちのパリ(Paris des Chefs)

この新しいランデヴーは、メゾン・エ・オブジェ会場の中心にて催されます。「シェフたちのパリ」は、「パリはクリエイションの中心地」というコンセプトにまさに合致します。

どなたでも参加できるこの特別なイベントは、テーブルアート連盟(La Confédération des Arts de la Table)、およびフランスのドーヴィル市で開催される OFF フェスティバル(Omnivore Food Festival: 雑食フードフェスティバル)の創設者であるジャーナリスト、リュック・デュバンシェ(Luc Dubanchet)とのコラボレーションにより実現します。

500名を収容できる 401 会議場にて、12名の国際派シェフと 12名のクリエイターとのオープンな対話が繰り広げられます。この模様は見本市会場の「テーブル」(La Table)セクションに設置された大画面にて生放映されます。

インフォメーション

2009年1月26日(月) 10時~13時、および 14時~17時、パリノール見本市会場の 401 会議場(amphithéâtre 401)にて、
入場方法・要招待状またはインターネットでの事前申込(有料) www.parisdeschefs.com

新しいグルメ・ゲリラ: by エニヴランス

「テーブル」セクション hall 3

エニヴランス(Enivrance)は、その専門知識とノウハウをホール 3 の特設スペースで披露します。食に特化したこのトレンド・エージェンシーは、まず喜びの勝利を祝うカラフルな舞台を用意します。傲慢な植物は様式化されて消費され、誹謗された砂糖は単なる付属品となり、果物はおしゃべりに飾りたてられ、乳製品はしっかり構築され、ジュースはピロードのようになります。そして感覚を刺激する、実が敷き詰められた床面。美食家のクリエイティビティーについてすべて物語る、まさに革命的な味覚です。ここには、新しい食のライフスタイルが気後れなく表現されます。手はせっせと動き、お皿は消え失せ、生理的欲求が大きなテーブルとなります。

キュージーヌ・ナチュール(自然のなかのキッチン): by マタリ・クラセ、フレデリック・イー・グラセ・エルメ

now!(ノウ)生活空間を彩るデザイン hall 7B

デザイナーのマタリ・クラセ(matali crasset)と、文筆家兼料理人のフレデリック・イー・グラセ・エルメ (frédéric e. grasser hermé) が「キュージーヌ・ナチュール」(la Cuis'in nature: 自然のなかのキッチン)を提案します。それは、根っこがインスピレーションを植物から引き出し、私たちに栄養を与えるような料理。果物や野菜の貯蔵庫によって拡張された家庭菜園、そしてもちろん、準備、料理、味見するためキッチンです。菜園のなかにキッチンがあるのでしょうか？ それともキッチンのなかに菜園があるのでしょうか？

繊細な夜食、エロティックなテーブルアート: by フィリップ・ディ・メロ

インテリア・シーン Hall 5B

フィリップ・ディ・メロ(Philippe Di Méo)が、最もハイエンドなフランスのテーブルウェアのブランドを一同に集結させ、新たな欲望のオブジェを創造します。けれども今回の豪華な家庭用品は、ベッドやそのほか予想できないような肉感的な味見の場所へと、お皿とスーツの間を旅します…

また、このグルメの散策をより長く楽しんでいただくため、メゾン・エ・オブジェはこのたびメゾン・エ・オブジェ・エディトゥールの会場に設ける「チョコレート・バー」にピエール・エルメ(Pierre Hermé)を迎えます。(Hall 5C)

メゾン・エ・オブジェの見どころ(小見本市ごとに)

メゾン・エ・オブジェ・プロジェクト

インテリアデザインのためのソリューション

hall 5B



メゾン・エ・オブジェ・プロジェクトは年2回開催されます

これまで9月展のみだったメゾン・エ・オブジェ・プロジェクトが、初めて年2回開催されることとなりました。メゾン・エ・オブジェ・プロジェクトは、最先端の専門情報とテクニカルなソリューションを提示する場として、野心的なプロジェクトを成功させるための革新的なアイデアを求めているブレスクリプツールたちに絶大な信頼を得ています。

2,000 m²の展示面積に150以上の家具、照明、家電、バスルーム、タイル、床材、建築あるいはリノベーション資材、キッチン、指物のメーカーが出展し、クリエイションを発表します。

インテリア・シーンとメゾン・エ・オブジェ・エディトゥールとの理想的なスペースにて、次の3つのテーマに基づいて構成されます:

- 素材の工夫
- ノウハウ
- 健康な生活

インテリア・シーン

20年におよぶ世界で最も美しいインテリアの競演

hall 5B



メゾン・エ・オブジェのリーダー的存在として、インテリア・シーンは20年に渡って、クリエイティビティーを感嘆させ、驚愕させ、目覚めさせてきました。

室内装飾オブジェがアートオブジェと密接な関係を見せるなか、豪華とエレガンスが交差します。グザビエ・ニコラ・ギャラリー(La Galerie Xavier Nicolas)が、ジョン・アシュプール(John Ashpool)、マチルド・ペニコウ(Mathilde Penicaud)、フランシス・ゲリエ(Francis Guerrier)などのクリエイターやデザイナーを紹介し、ラウミエール・ギャラリー(La Galerie Lahumière)は、特に素晴らしい照明器具とともにコンテンポラリーなオブジェや家具をする彼らの新しいセクション「ラウミエール・デザイン」を発表します。フランスの装飾芸術の伝統に、クリスティアン・ガヴォワール(Kristian Gavouille)がデザインするリンク(Rinc)という家具の新しいラインや、ラオホ(Rauch)が提案する高級家具が、華を添えます。

ヴィンセント・ヴァン・ダイゼン(Vincent Van Duysen): インテリア・シーン 2009のクリエイター

建築家、インテリアデザイナー、デザイナーのヴィンセント・ヴァン・ダイゼン(Vincent Van Duysen)のプロジェクトには、ミニマリストかつエレガントな要素が加えられ、それにより際立った存在となっています。

本質をとらえ、エレガントで洗練された作品は、ヨーロッパ、米国、日本などで、高く評価されています。

タレント・アラ・カルト(Les Talents à la carte)

インテリア・シーンでは毎年、注目に値する才能豊かなフランスのデザイナーを選び焦点を当てています。膨大な応募資料を精査して、この大変な選抜が実施されました。今年は6名のクリエイターの作品を通して、「女性らしさ」に称賛を捧げています。

アントネラ・フェッダ=ハファフ(Antonella Fadda Haffaf)は、未来にはばたくフロアリストです。antonella@haffaf.com

フェリシ・バジャール(Félicie Bajard)は、テキスタイルのクリエイターです。伝統に奇抜さをミックスしたラグジュアリーなレザーバッグのコレクションは、レザーと磁器から作られています。bajard.felicie@neuf.fr

アルメル・バラウ(Armel Barraud)は、壁掛けレースのデザイナーです。金属製の糸を用いて絵やタピスリーを創作し、従来の壁紙に代わって壁面を装飾します。armel.barraud@yahoo.fr

アンヌ=シャルロット・ブランショ(Anne Charlotte Blanchot)は今最も熱いフードスタイリストで、デルフィーヌ・ユゲ(Delphine Huguet)とともに「食すべきもの」(choses à manger)というラインを発表しました。彼女たちは日常のありふれたオブジェにユーモアとボエジーで味付けをします。acblanchot@gmail.com

セリーヌ・テュルパン(Céline Turpin)は、陶芸家で、アートを自然へと捧げています。樹木のためにクリエイティブした装飾品やとても大きくカラフルなネックレスは、彼女の自然に対する感謝の気持ちを表現したものです。celineturpin@yahoo.fr

クレモンヌ・デュモン(Clémente Dumont)は、刺繍にその才能を開花させます。ユーモアにあふれた糸で人間の体躯を表現します。

clemence.dumont@hotmail.fr

- 数字で見るインテリア・シーン: 出展者数 200社(うち100社はフランス国外より); 展示面積 11,500 m²。

メゾン・エ・オブジェ
2009 年春夏コレクション

halls 1,2,3,4, 5A & 6



多面的で多様なメゾン・エ・オブジェは、ホームファッションのトレンドのすべてを一同に集め、先取りします。制限のない自由なクリエイティビティに支えられた、躍動する世界です。

新企画！「エスプリ・スタジオ」(ESPRIT STUDIO)：常に未来を先読みし、ホームアクセサリが初めて都会の若者の世界に足を踏み入れます。自分のイメージ通りのテリトリーを作りたい、注文の多い若者の個性を反映することを可能にする、ひとつの趣味に偏らず機能的でクリエイティブな展示です。

now!(ナウ)生活空間を彩るデザイン
エスプリのきいたホームデザイン

halls 7A & 7B



デザインのトレンドに捧げられた見本市、now!(ナウ)生活空間を彩るデザインは、イノベーションとクリエイションによって他とは一線を画すハイクオリティなコレクションを提示します。
今回展は次の 2 つの要因によってとりわけダイナミックでクリエイティブなものとなります：著名デザインブランドの登場、そして新製品をいち早く発表する場として出展者らが now!(ナウ)を選んだことです。

ジャン=マリー・マソー(Jean Marie Massaud)：now!(ナウ)生活空間を彩るデザイン 2009 のクリエイター

彼の夢をみる才能とマグマのようなエスプリが、型にはまらないさまざまなアイデアをひとつに結びつけます。既存のものに代わる新しいコンセプトやモデルを生み出そうという強固な意志によって、現実の世界においてそれが実現可能となるのです。
いくつもの賞を受賞し、世界の名高い美術館のコレクションに彼の作品が収められています。(アムステルダム、シカゴ、リスボン、ロンドン、パリ、チューリッヒ)。また 2005 年には東京で、2007 年にはパリのエスパス VIA において彼の特別展が開催されました。

数字で見る now!(ナウ)生活空間を彩るデザイン：出展者数 250 社(うち 175 社はフランス国外より)；展示面積 9,500 m²。

メゾン・エ・オブジェ・エディトゥール
2009 年コレクション

hall 5C



デザイナーズ・インテリアテキスタイルが一堂に会すメゾン・エ・オブジェ・エディトゥールは第 6 回の開催を迎え、20 ヶ国から 160 ブランドが出展します。出展者のうち 80% はフランス国外の企業です。

⇒ クリエーターの育成：

- メゾン・エ・オブジェ・エディトゥールでは初めて、8 名の若きインテリアテキスタイルのクリエイターの作品を評価するスペースを設けます：
- **ペリーヌ・ルソー(Perrine Rousseau)：**素材に関してアヴァンギャルドな彼女は、コットン、麻、ウール、ヘンプなどのオーガニックな天然素材のみを用いて創作します。
- **ジュラハ(Julaha)：**このインドのアソシエーションは、才能とマーケットを発展させることにより織物職人に安定した雇用を創出し、今世紀に活躍する職人に新たな道を開いています。 www.julaha.org
- **キャロリーナ・イルヴィング(Carolina Irving)：**「ハウス&ガーデン」誌(House & Garden)で知られていますが、今日では彼女自身のオリジナルコレクションを発表しています。 www.carolinairvingtextiles.com
- **シーエムオー(CMO)：**天然繊維によるクリエイションの先駆者です。
- **カンドラ(Kandola)：**ライストーンなどきらきらした装飾を得意とする英国のクリエイターです。ポエジーとシンプルさに満ちた世界です。
www.kandola.co.uk
- **カドリール(Quadrille)：**コットン・プリントと現代風にしたジュエイブを専門的に用いるアメリカのデザイナーです。 www.quadrillefabrics.com
- **トリミングス・アンド・ファッション(Trimmings and Fashion)：**飾りひもに新たな視線を投げかけます。 www.trimmingsandfashion.it

⇒ パオラ・ナヴォネ(Paola Navone)によるセノグラフィ

パオラ・ナヴォネ(Paola Navone)が今回展のために素晴らしいセノグラフィを見せてくれます。中東からインスパイアされた、軽やかさとポエジーをミックスした世界を表現します。美しいテキスタイル、塗装、壁紙の発見へと来場者を導きます。

数字で見るメゾン・エ・オブジェ・エディトゥール：出展者数 160 社(うち 100 社はフランス国外より)；展示面積 8,000 m²。

メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ
2009 年コレクション

hall 6 中 2 階



文化的なオブジェがインテリアを席卷します。美術館のブティックや文化遺産から集められたアイテムは、デコレーションのショップをセンスと感動とでいっぱいにします。美術品レプリカの専門社、テキスタイルやペーパー加工の専門家、ギフト品や知育玩具のメーカー、マルチメディア関連...メゾン・エ・オブジェ・ミュゼに、文化的なオブジェをリードする出展者が集結します。

また、ミュージアムショップ、文化遺産、観光地、高級ホテル、財団など、この急成長中の市場でビジネスするバイヤーのために、会期中にさまざまなコンファレンスを開催します。

数字で見るメゾン・エ・オブジェ・ミュゼ：出展者数 50 社；展示面積 500 m²。

各見本市の概要

ムーブル・パリ

入場は業界関係者のみ
パリ・ルブルジェ見本市会場
会期：
2009年1月22日(木)～26日(月)
開場時間：
9時30分～19時

Hall 1. アトモスフェール・クラシック
Hall 2. アトモスフェール・クラシック、アトモスフェール・チャーム、アトモスフェール・エスニック、アトモスフェール・イン&アウト
Hall 3. ソフト・リビング
Hall 4. トゥデイ・リビング、キッズ・リビング
Hall 5. ロフト・リビング

メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、
ナウ！(now) 生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・プロジェ、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドア、メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ

入場は業界関係者のみ
パリノール見本市会場
会期：
2009年1月23日(金)～27日(火)
開場時間：
9時30分～19時(最終日は18時まで)

各セクターと小見本市：
Hall 1. エスニック・シック・MIC
Hall 2. テキスタイル
Hall 3. テーブル
Hall 4. エスバス
Halls 4 & 5A. コテ・デコ
Halls 5A & 6. ホームアクセサリー
Hall 6. 中2階. メゾン・エ・オブジェ・ミュゼ
Hall 5B. インテリア・シーン
Hall 5B. メゾン・エ・オブジェ・プロジェ
Hall 5C. メゾン・エ・オブジェ・エディトール
Halls 7A & 7B. ナウ(now)! 生活空間を彩るデザイン

主催
SAFI(フランス・アトリエダール組合とリードエキジビションの共同出資による運営機関)
Tel. +33 (0)1 44 29 02 00 - Fax : +33 (0)1 44 29 02 01
email : info@safisalons.fr

www.maison-objet.com / www.meuble-paris.net

2009年9月展のスケジュール

メゾン・エ・オブジェ、インテリア・シーン、ナウ！(now)生活空間を彩るデザイン、メゾン・エ・オブジェ・エディトール、メゾン・エ・オブジェ・アウトドア・インドア、
メゾン・エ・オブジェ・プロジェ
2009年9月4日～8日
パリノール見本市会場

日本でのお問合せ先：**フランス見本市協会**
106-0032 東京都港区六本木 5-5-1 ロアビル 7 階
TEL 03-3405-0171
FAX 03-3405-0418
japan@promosalons.com
<http://promosalons.cc-town.net>

2009年1月展の出展者リストや、プレス用ビジュアル資料は、
公式ホームページから入手が可能です。

www.maison-objet.com または www.meuble-paris.net にアクセスしてください。
(左上の英国国旗をクリックすると英語版になります)

プレス登録は、左側のグレーの項目のなかから「PRESS」をクリックし、
「get accredited」を選択して進めてください。
ご不明な点やパスワード等については、フランス見本市協会までお訊ねください。

以上